

ひまわり通信

特定非営利活動法人 福岡地域福祉サービス協会
事業所：＜訪問介護＞ひまわり・巡回介護ひまわり・東・南
＜デイサービス＞ひまわりはらだくひまわり大楠＞リハビリデイ・
小規模多機能・グループホーム＜有料老人ホーム＞ファミリーはらだ



マナーとルールを守り、信頼される介護者となる。





集合学習

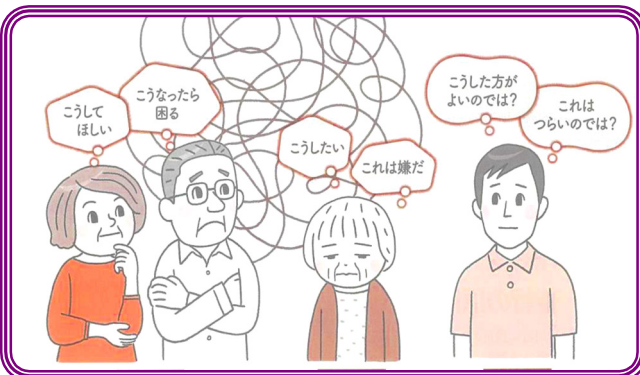
認知症 及び 認知症ケア



9月学習会のテーマ：『倫理規定・法令順守(遵守)・個人情報保護・プライバシー保護』

介護における倫理観について

利用者の中にある様々な思い。それを言葉で伝えられる場合もあれば、遠慮して本心を言えない場合や、思いを言葉にするのが難しい場合もある。そんななか、利用者と家族の意向が異なったり、介護職が自分の価値観にとらわれたりすると、利用者の思いを優先できなくなることがある。



私が思う倫理的対応

- ・利用者様の不利益を避ける。
- ・その人らしさを尊重する。
- ・利用者様の気持ちや思いに寄り添う、傾聴する。

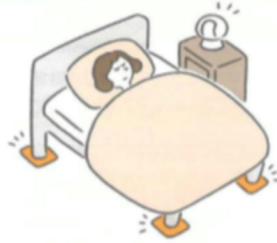
プライバシー保護について

～4つのケースで考えよう あなたが利用者ならどう思いますか？～

1 自分がトイレで排泄している時に、ドアのすぐそばで見守られても気にならない。



2 ベッドで寝ているところを見守りカメラやセンサーで観察されてもよい。



3 入浴や更衣の際、介助者に裸(肌)を見られても構わない。



4 自分のいないところで、自分の話をされても抵抗はない。



- ・音や臭いが気になってできない。落ち着かない。
- ・トイレご利用時は、トイレ前で待たれるより、後ほどお声掛けしますなど、声掛けや対応に十分に配慮してほしい。

- ・状況、状態によっては良い(仕方ない)。
- ・健康面が落ち不安になってきたら、見守りカメラもあると安心するかも。

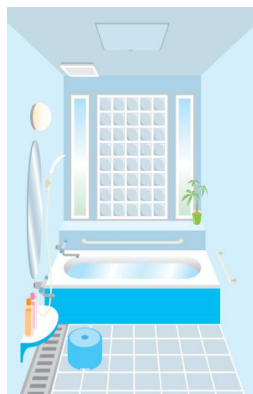
- ・同性であれば大丈夫。
- ・入浴はタオルで隠してもらいたい。
- ・自分一人で入浴できないので仕方がないが抵抗はある。

- ・自分の話していることを知らなければ気にしない、気にならない。
- ・話す必要のあることであれば自分の話をされても抵抗はない。

利用者宅でのプライバシー保護

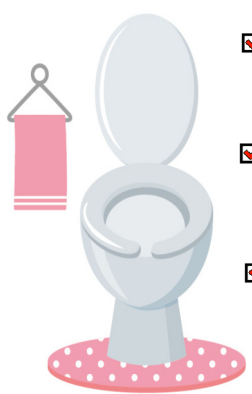
～ 部屋の種類別でのプライバシー保護について ～

浴室では...



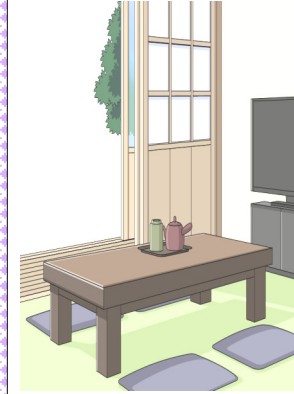
- ☑ タオルで隠すなど肌の露出を最小限にする
- ☑ 適切な時間、かつ安全に介助できる入浴介助の手順を覚え、利用者の負担を軽減する

トイレでは...



- ☑ トイレのドアは必ず閉める(安全上、問題がなければ)
- ☑ 汚れたオムツ類を利用者の目に触れないように扱う
- ☑ 排泄介助は、自尊心に最大限の配慮が必要 介助中の表情、言葉遣いにも気を配る

居室では...



- ☑ 利用者の前では部屋の中を必要以上観察しない
- ☑ 部屋の中にあるものを勝手に触ったり、動かしたりしない
- ☑ メモを取る際は利用者に一声かける

小規模多機能ホームひまわり大橋 リハビリデイひまわり大橋 グループホームひまわり大橋



小規模多機能ホームの敬老会は、オカリナコンサートでした。優しい音と懐かしい歌で盛り上がりました。

プレゼントはドレスを着て写した写真です。華やかにドレスアップした自分の写真に皆さん喜んで頂きました。



利用者さんの活躍の場として運営推進会議でお茶出しをしていただきました。



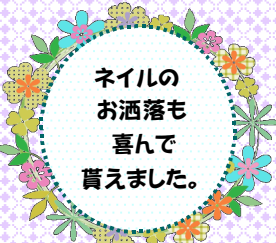
リハビリデイひまわりは、敬老の日のお祝いでお寿司バイキングをしました(^_^)うな丼や天井もあり皆さん喜ばれていました。



紅白饅頭をお渡しするとこれまた喜ばれていました。



グループホームは9月初めから4階にコロナ感染が発生し、初動対応で感染拡大はありませんでしたが、楽しみにしていた敬老会は開催日をずらして各ユニットで行うことになりました。102歳、101歳、100歳を筆頭に多年にわたり社会に貢献された入居者を敬愛し、感謝して長寿をお祝いました。



ネイルのお洒落も喜んで貰えました。



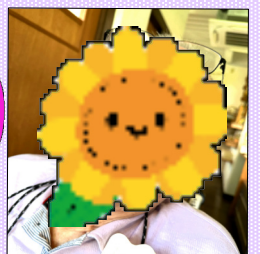
デイサービスひまわりはらだ



秋の薔薇をご自宅から持参していただきました。デイルームが花で賑わいました。



外出日和が続ぎ、近くのカフェでケーキとコーヒーを堪能してきました。



今月は96歳を迎えられた方が居られました。



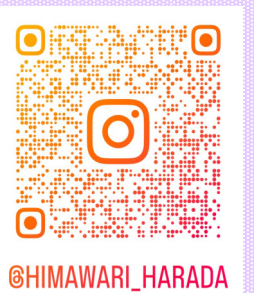
ひまわりカフェではデザートビュッフェをしています。好みのものを選び、召し上がられています。



インスタをしています



利用者様の素敵な笑顔を投稿しています！たくさんの感想お待ちしております。



定期巡回随時対応型訪問介護・看護サービスの紹介

「定期巡回随時対応型訪問介護・看護サービス」とは、重度者をはじめとして要介護者（介護1～5）の在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が密接に連携しながら、短時間の「定期巡回訪問」と通報による「随時訪問対応」を行うサービスです。

今回は「定期巡回・随時対応型 訪問介護看護サービス」と「訪問介護」の違いについてご紹介します。

	報酬形態	提供サービス	サービス提供の計画	サービス提供の考え方	サービス内容による制限	他のサービスの同時訪問制限	最低滞在時間制限	各事業の責任者	随時対応と随時訪問の違い
定期巡回	包括報酬	繋ぐサービス	計画作成責任者	必要なサービス提供	なし	なし	なし	計画作成責任者	オペレーターが電話にて随時対応
訪問介護	サービス毎	完結させるサービス	ケアマネージャー	決まったサービス提供	あり	あり	あり	サービス担当責任者	訪問介護員が訪問にて随時訪問

その他、定期巡回随時対応型訪問介護・看護サービスでは、病状等から今後考えられるリスクを明確化するため概ね1ヶ月に1回「看護のアセスメント」が必要です。